



福島第一原子力発電所事故起因の人工放射性物質による放水口モニター計数率上昇について

平成24年11月7日
東北電力株式会社

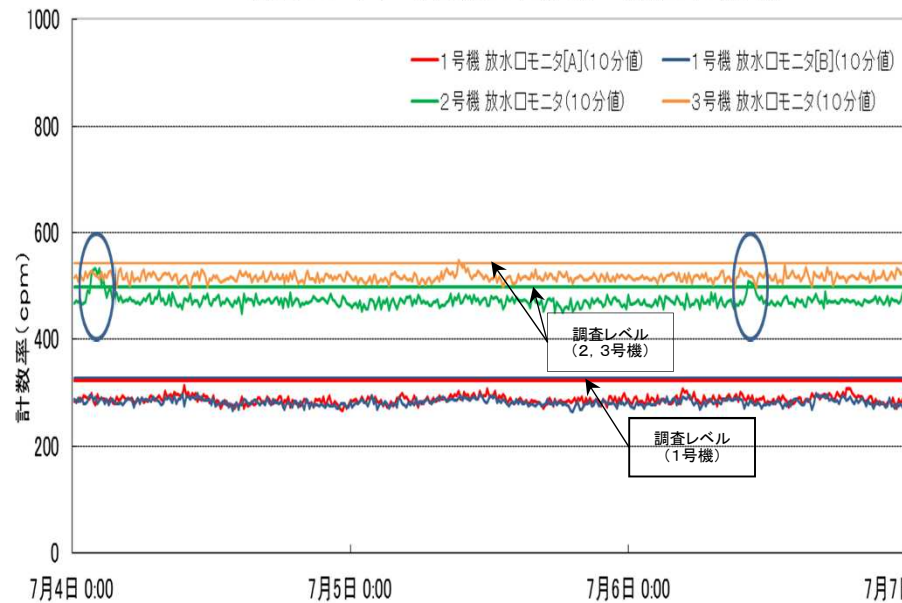
1. 事象概要

1, 2号機放水口モニター計数率が、降水等の自然変動要因によらず一時的に上昇する事象が発生しました。いずれの上昇時にも放射性液体廃棄物の放出はありませんでした。

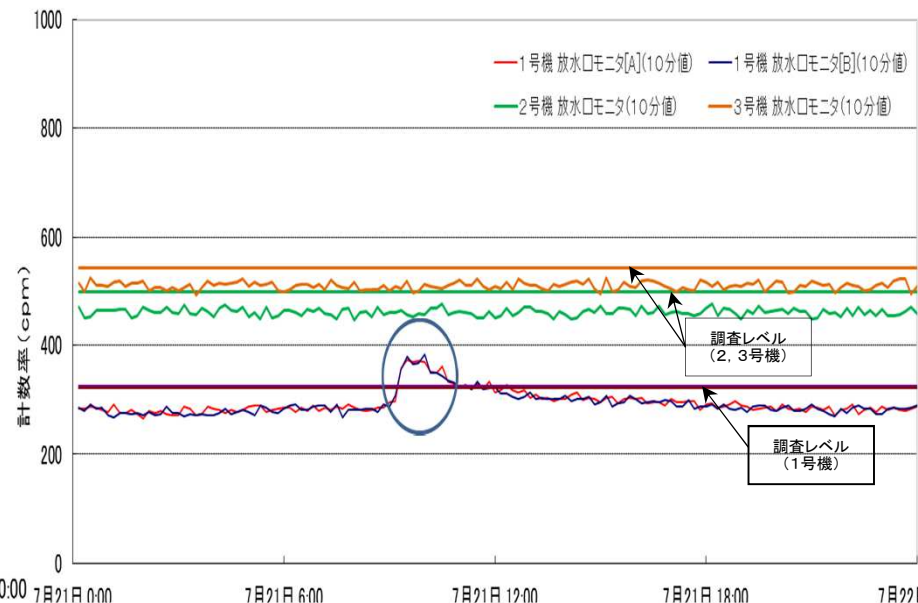
放水口モニター計数率上昇(調査レベル超過)事象発生状況

号機	日時	最大値(cpm)	放射性液体廃棄物放出有無
2号機	平成24年7月 4日 2時00分	532	無
2号機	平成24年7月 6日 10時20分	508	無
1号機	平成24年7月21日 9時30分 10時00分	373(A) 383(B)	無

放水口モニターデータ(平成24年7月4日～平成24年7月6日)



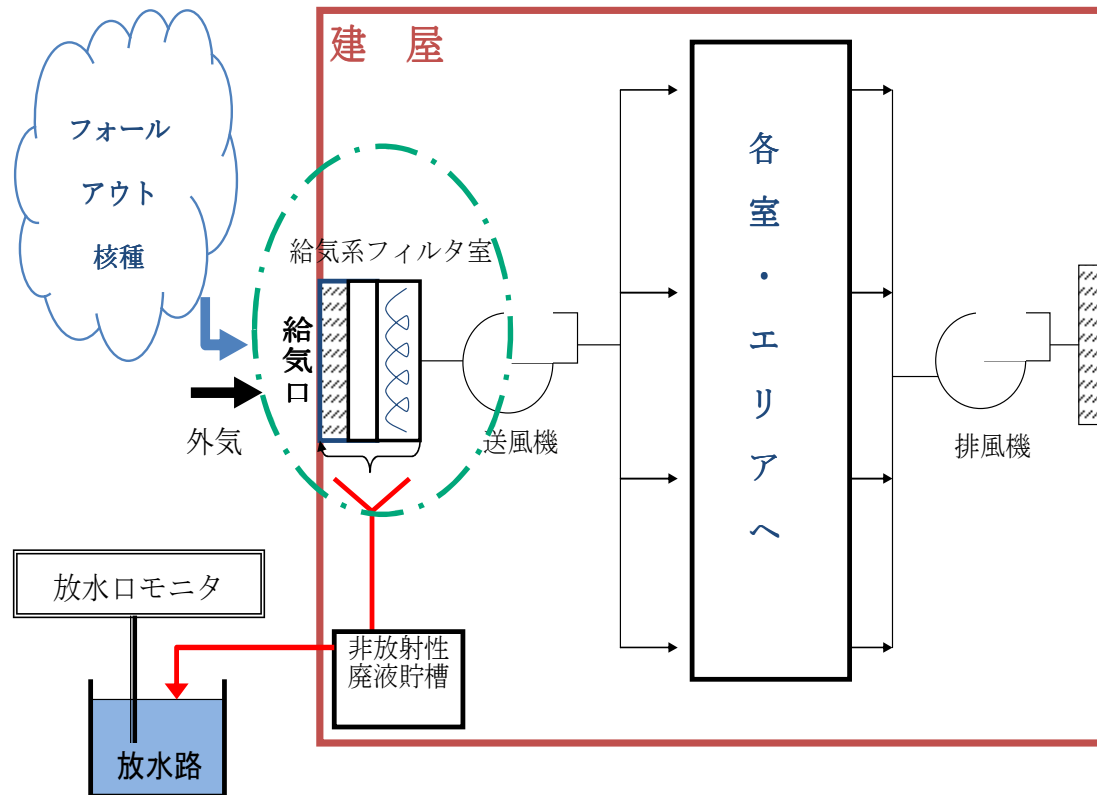
放水口モニターデータ(平成24年7月21日)



2. 計数率上昇原因

上昇原因を調査した結果、福島第一原子力発電所事故起因の人工放射性物質が給気系フィルタに捕集・蓄積され、その一部がフィルタ室内の結露水等と共に、放水路へ排水されたことによるものと推定されます。

フォールアウト核種の主な放水路への流入経路（イメージ）



給気系フィルタ室内部状況



バッグフィルタ

床ドレンファンネル(NSD)



（新品：バッグフィルタ正面（給気入口側））



（新品：バッグフィルタ側面（給気出口側））



3. 今後の対策について

東京電力福島第一原子力発電所事故起因により、線量当量率、表面汚染密度が高いことが確認された箇所について、清掃および給気フィルタの交換を実施する。